|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 令和3年1月29日2月号ＮＯ.14**春木小学校園だより** |

**2月の予定**



◎授業参観について

別紙でもお伝えしましたが、2月18日19日に予定していました授業参観を中止いたします。

本年度は、一度も授業の様子をご覧いただく機会がありませんでした。本当に申し訳ありません。

★卒業証書授与式について

　3月19日(金)9時30分(受付は8時50分～)から本校体育館で、卒業証書授与式を行います。

　参列者の人数やご協力いただく事などは、後日改めてお知らせいたします。

　なお、在校生(5年生)は、参列しません。

【校長室から】　　活字の力

緊急事態宣言が出て、休日の外出も思うようにいきません。

1月の最初には、京橋ツイン21で開催された大きな古本市にも行けませんでした。自粛したのです。振り返れば、例年楽しみにしている下賀茂神社で行われる真夏の古本市も開催が中止。毎年、参加していただけに残念でした。秋に京都の知恩寺で行われる古本市は、感染状況が改善されていた時期でもあり開催されたので、行ってきましたが、ここで楽しみにしていた古本のセリ市は、中止。数年前、調子に乗って横山光輝の漫画「三国志」デラックス版全60巻を600円で競り落とし小躍りして喜んだまでは良かったのですが、余りの本の量に持って帰ることができず自宅へ送ることに。その送料が千円‥‥。

そんな過去の出来事を懐かしく思い出しながら、休日は蟄居しています。

ひたすら本を読もうとするのですが、老眼に近視が邪魔をしてこれもなかなかままなりません。

ある南米の詩人の詩を調べたくって図書館に問い合わせると見つけてくれましたが、これが昭和30年に出版されたもの。表紙もペ－ジも赤茶けて、独特のホコリ臭い香りがします。しかし、古本ファンにとってこの匂いは最高。

ペ－ジをめくるごとに香しい薫りが。詩を読んでいるのか、匂いをかいでいるのかわからない始末。そっとページを手で触ると、紙の上に活字の凸凹が感じられて、昔は職人さんがひと文字ずつ活字で文章を作っていたことを改めて思い出しました。匂いと活字の触感と。

古いものには、デジタルにはないさまざまな味わいがあります。